

合 併 協 定 調 印 式

開催日時 平成16年10月9日(土)
午前10時から
開催場所 名鉄トヤマホテル4階「瑞雲」

【概 要】

- 開 式 挨 拶 森 富山地域合併協議会会長
- 経過報告及び協定内容の説明 阿部 富山地域合併協議会事務局長
- 合併協定書調印 森 富山市長、中斉 大沢野町長、清水 大山町長、吉村 八尾町長、
大島 婦中町長、山崎 山田村長、野尻 細入村長
- 立会人による署名 高見 富山市議会議員、伊東 大沢野町議会議員、大田 大山町議会議員、
本多 八尾町議会議員、藤澤 婦中町議会市町村合併問題特別委員長、
村上 山田村議会議員、堀 細入村議会議員
- 祝 辞 中沖 富山県知事(代理 澤合 富山県出納長)、長勢 衆議院議員
- 閉 式 挨 拶 中斉富山地域合併協議会副会長・会長職務代理者

【出席者・市町村長】

役 職 名	氏 名	備 考
富 山 市 長	森 雅志	
大 沢 野 町 長	中斉 忠雄	
大 山 町 長	清水 忠夫	
八 尾 町 長	吉村 栄二	
婦 中 町 長	大島 外夫	
山 田 村 長	山崎 吉一	
細 入 村 長	野尻 昭一	

【出席者・立会人】

役 職 名	氏 名	備 考
富山市議会議員	高見 隆夫	
大沢野町議会議員	伊東 慶喜	
大山町議会議員	大田 清夫	
八尾町議会議員	本多 哲三	
婦中町議会市町村合併問題特別委員会委員長	藤澤 隆	
山田村議会議員	村上 伸治	
細入村議会議員	堀 勇一	

【出席者・来賓】

役 職 名	氏 名	備 考
富山県知事（代理・富山県出納長）	澤合 敏博	
衆議院議員	長勢 甚遠	
衆議院議員	村井 宗明	
参議院議員	野上 浩太郎	
参議院議員	広野 ただし	
参議院議員 河合常則（代理）	道用 孝	

【出席者・招待者】

役 職 名	氏 名	備 考
富山地域合併協議会委員	石田 淳	
富山地域合併協議会委員	新畑 彬	
富山地域合併協議会委員	正橋 寛	
富山地域合併協議会委員	今川 隆司	
富山地域合併協議会委員	水和 恒久	
富山地域合併協議会委員	関 和夫	
富山地域合併協議会委員	高田 敏成	
富山地域合併協議会委員	五本 幸正	
富山地域合併協議会委員	村上 太三	
富山地域合併協議会委員	畔田 武雄	
富山地域合併協議会委員	江本 茂雄	
富山地域合併協議会委員	山田 尚忠	
富山地域合併協議会委員	本多 憲昭	
富山地域合併協議会委員	大泉 美登子	
富山地域合併協議会委員	上口 勇三	
富山地域合併協議会委員	林 美津子	
富山地域合併協議会委員	岡本 武勇	
富山地域合併協議会委員	池田 薫	
富山地域合併協議会委員	林 のぶ子	
富山地域合併協議会委員	吉田 美紀子	
富山地域合併協議会委員	杉林 好信	
富山地域合併協議会委員	小西 源清	
富山地域合併協議会委員	名徳 隆弘	
富山地域合併協議会委員	圓山 達行	
富山地域合併協議会委員	水井 君枝	
富山地域合併協議会委員	高沢 規子	
富山地域合併協議会委員	北山 虎雄	
富山地域合併協議会委員	林 不二男	
富山地域合併協議会委員	黒野 嘉之	
富山地域合併協議会監事	金井 保	
富山地域合併協議会前監事	松田 善正	
富山県議会議員	五十嵐 務	
富山県議会議員	佐藤 英逸	
富山県議会議員	島田 一	

富山県議会議員	中川 忠昭	
富山県議会議員	杉本 正	
富山県議会議員	坂田 光文	
富山県議会議員	宮本 光明	
富山県議会議員	竹内 弘則	
富山市議会議員	佐藤 則寿	
富山市議会議員	平野 敏久	
富山市議会議員	南 俊正	
富山市議会議員	高森 寛	
富山市議会議員	鋪田 博紀	
富山市議会議員	岡村 耕造	
富山市議会議員	市田 龍一	
富山市議会議員	吉田 勉	
富山市議会議員	堀江 かず代	
富山市議会議員	神名 進	
富山市議会議員	丸山 治久	
富山市議会議員	村上 和久	
富山市議会議員	村家 博	
富山市議会議員	原田 佳津広	
富山市議会議員	笹木 豊一	
富山市議会議員	安守 忠一	
富山市議会議員	佐伯 光一	
富山市議会議員	早勢 健一	
富山市議会議員	島田 幸男	
富山市議会議員	砂子阪 和夫	
富山市議会議員	岩脇 秀三	
富山市議会議員	長尾 憲二	
富山市議会議員	島田 祐三	
富山市助役	望月 明彦	
富山市教育長	吉川 實	
富山市上下水道事業管理者	杉原 信介	
富山市農業委員会会長	田口 清信	
富山市代表監査委員	才木 勝治	
富山市公民館運営審議会会長	奥澤 利治	
総曲輪校下自治振興会長	縄井 憲一	
愛宕校下自治振興会長	西村 淳一	
安野屋校下自治振興会長	川岸 輝文	
八人町校下自治振興会	澤野 進	
西田地方校下自治振興会長	山谷 富士夫	
五番町地区自治振興会長	石黒 孝	
柳町校下自治振興会長	小林 稔	
清水町校下自治振興会長	武田 義一	
東部校下自治振興会長	山室 良作	
山室校下自治振興会長	山崎 豊一	
山室中部自治振興会長	渡辺 新次郎	
新庄校下自治振興会副会長	大川内 秋弘	
広田校下自治振興会長	高岡 勉	
藤ノ木校下自治振興会長	高尾 直行	

八幡校下自治振興会長	高木 隆義	
草島校下自治振興会長	藤井 義昭	
五福校下自治振興会長	飯田 久行	代理・副会長
桜谷自治振興会長	本木 克明	
堀川校下自治振興会長	島谷 信	
堀川南校下自治振興会長	平井 信義	
蜷川校下自治振興会長	松木 幸一	
熊野校下自治振興会長	太田 勝弘	
新保校区自治振興会長	高堂 肆郎	
光陽校区自治振興会長	山藤 文雄	
岩瀬自治振興協議会長	武田 弥太郎	
大広田校下自治振興会長	林 外宣	
針原地区自治振興会長	信耀 照顕	
豊田校下自治振興会長	窪田 菊次郎	
奥田校下自治振興会長	竹内 茂	
奥田北校下自治振興会長	松本 啓造	
呉羽校下自治振興会長	沖 猛男	
長岡校下自治振興会長	中林 治信	
池多校下自治振興会長	松崎 俊勝	
水橋中部自治振興会長	梅澤 信義	
水橋西部自治振興会長	黒田 富士夫	
三郷校下自治振興会長	石黒 幸雄	
上条自治振興会副会長	北東 俊夫	
富山市納税貯蓄組合連合会会長	鈴木 秀一	
富山市 P T A 連絡協議会会長	廣田 勉	
富山市体育協会専務理事	東山 幸暉	
富山市児童クラブ連絡協議会長	堀 次雄	
富山市母親クラブ連絡協議会会長	和田 麗子	
富山市身体障害者福祉協議会会長	多賀 清成	
富山市社会福祉協議会会長	大島 哲夫	
富山交通安全協会会長	稲澤 善之助	
富山北部交通安全協会副会長	作田 雄一郎	
水橋交通安全協会会長	浜田 健三	
富山市交通指導員連絡協議会長	坂林 明雄	
富山北部地域交通安全活動推進委員協議会長	島地 重熙	
富山市交通安全母の会連絡協議会長	竹田 テル子	
富山防犯協会会長	森 雅志	
富山北部防犯協会	松木 幸一	
滑水防犯協会事務局長	広沢 幸順	
富山市食生活改善推進連絡協議会長	宮岸 裕美子	
富山市保健衛生連合会会長	森田 忠雄	
呉羽商工会会長	田畑 宏継	
水橋商工会会長	大橋 博正	
和合商工会会長	荻野 孝之	
富山市シルバー人材センター理事長	牧野 英弘	
なのはな農業協同組合代表理事組合長	松本 正男	
富山市農業協同組合代表理事組合長	山峰 武志	
とやま市漁業協同組合代表理事組合長	浦上 秀雄	

富山市社会教育委員会議議長	鹿熊 久三	
大沢野町議会議員	浅生 幸子	
大沢野町議会議員	杉森 克実	
大沢野町議会議員	石坂 孝夫	
大沢野町議会議員	佐々木 健治	
大沢野町議会議員	西野 満男	
大沢野町議会議員	稲垣 照夫	
大沢野町議会議員	木下 進	
大沢野町議会議員	堀 辰雄	
大沢野町議会議員	松田 弥栄	
大沢野町議会議員	長澤 邦男	
大沢野収入役	牧野 和正	
大沢野町教育長	坂巻 龍雄	
大沢野町教育委員会委員長	林 千文	
大沢野町選挙管理委員会委員長	小川 弘文	
大沢野町固定資産評価審査委員会委員長	中島 實	
大沢野町公民館連絡協議会会長	川部 貞夫	
大沢野町自治会連合会会長	北野 修	
大沢野町納税貯蓄組合連合会会長	宮坂 良夫	
大沢野町連合婦人会長	茶木 ヒサ子	
大沢野町老人クラブ連合会会長	中村 明	
大沢野町 PTA 連絡協議会	柳瀬 和昭	
大沢野町体育協会会長	平野 専作	
大沢野町社会福祉協議会会長	中田 保雄	
大沢野町交通指導員連絡協議会会長	谷村 茂徳	
大沢野町保健衛生協議会会長	加藤 安信	
大沢野町芸術文化協会会長	森 清彦	
大沢野町商工会事務局長	新村 公勝	
大沢野町民生児童委員協議会会長	西山 一義	
大沢野町シルバー人材センター事務局長	桐山 健一	
大山町議会議員	長原 満	
大山町議会議員	貫場 良作	
大山町議会議員	山森 盛光	
大山町議会議員	荒井 勝博	
大山町議会議員	野口 孝三	
大山町議会議員	古山 保	
大山町議会議員	富永 すみ子	
大山町議会議員	高尾 道明	
大山町収入役	荒木 紋真	
大山町教育長	榮 俊一	
大山町教育委員会委員長	早水 淑子	
大山町選挙管理委員会委員長	田近 尚	
大山町農業委員会会長	山崎 久男	
大山町消防団長	瀬川 忠弘	
大山町女性団体連絡協議会会長	山尾 悦子	
大山町老人クラブ連合会会長	田近 正範	
大山町体育協会会長	高木 義則	
大山町児童クラブ連絡協議会会長	藤野 光一	

大山町母親クラブ連絡協議会会長	江尻 博子	
大山町社会福祉協議会会長	才木 芳治	
大沢野地区交通安全協会大山支部長	杉田 忠則	
大山町商工会会長	山元 一夫	
大山町観光協会事務局長	中里 一守	
八尾町議会議員	宮前 宏司	
八尾町議会議員	高本 茂	
八尾町議会議員	平井 誠一	
八尾町議会議員	深井 清作	
八尾町議会議員	金厚 有豊	
八尾町議会議員	大島 満	
八尾町議会議員	柞野 勝彦	
八尾町議会議員	新村 俊雄	
八尾町議会議員	角間 賢二	
八尾町議会議員	杉山 峰夫	
八尾町議会議員	井沢 行雄	
八尾町教育長	宮本 啓宇	
八尾町選挙管理委員会委員長	杉林 正明	
八尾町農業委員会会長	澤井 正治	
八尾町監査委員	今村 繁一	
八尾町固定資産評価審査委員会委員長	前田 正幸	
八尾町公民館連絡協議会会長	福田 政雄	
八尾町区長連合会会長	杉山 幸雄	
八尾町消防団団長	福島 順二	
八尾町連合婦人会会長	山田 実子	
八尾町身体障害者協会会長	武部 博義	
八尾町交通指導員連絡協議会会長	太田 勲	
八尾町食生活改善推進連絡協議会会長	井澤 好江	
八尾町保健衛生協議会会長	沼田 修真	
八尾町民生児童委員協議会会長	井野下 堅佑	
八尾町シルバー人材センター理事長	長谷川 正二	
あおば農業協同組合代表理事組合長	舘 幸男	
婦負漁業協同組合代表理事組合長	山口 博	
婦中町議会議員	西村 信啓	
婦中町議会議員	平田 清範	
婦中町議会議員	村林 忠信	
婦中町議会議員	高木 勲寛	
婦中町議会議員	若林 伯治	
婦中町議会議員	梶原 昭	
婦中町議会議員	有澤 守	
婦中町議会議員	井上 辰男	
婦中町収入役	奥野 義和	
婦中町教育長	井上 亮二	
婦中町教育委員会委員長	谷野 利一	
婦中町選挙管理委員会委員長	谷川 正一	
婦中町農業委員会会長	五十嵐 晃	
婦中町自治会連合会会長	平井 武雄	
婦中町社会福祉協議会会長	清水 信義	

婦中町交通対策協議会	青山 哲長	
婦中町交通指導員連絡協議会会長	島田 茂雄	
婦中町交通安全母の会会長	川幡 洋子	
婦中町防犯協議会	藤井 勇吉	
婦中町男女共同参画推進員連絡協議会会長	南部 みすゑ	
婦中町保健衛生協会会長	濱谷 善勇	
婦中町商工会会長	梅本 良男	
婦中町観光協会会長	青山 光明	
婦中町民生委員児童委員協議会会長	久郷 恒吉	
山田村議会議員	石崎 貞夫	
山田村議会議員	三井 傳保	
山田村議会議員	浅名長在工門	
山田村議会議員	小塚 理吉	
山田村議会議員	八田 繁一	
山田村議会議員	小林 功	
山田村議会議員	役川 一雄	
山田村選挙管理委員会委員長	高澤 義春	
山田村商工会長	千沢 忠輝	
山田村民生児童委員協議会長	田島 藤治	
細入村議会議員	江尻 裕亮	
細入村議会議員	古川 一夫	
細入村議会議員	土田 希	
細入村議会議員	木村 昭博	
細入村議会議員	津田 清則	
細入村議会議員	竹井 昭夫	
細入村教育委員会委員長	平野 芳文	
細入村選挙管理委員会委員長	本田 正吉	
細入村農業委員会会長	谷井 定夫	
細入村村代表監査委員	桐井 博	
細入村固定資産評価審査委員会委員長	田口 義信	
細入村自治会連合会副会長	安藤 清隆	
細入村消防団副団長	森井 弘明	
細入村老人クラブ連合会副会長	加藤 勉	
細入村体育協会副会長	佐藤 幹司	
細入村児童クラブ連合会役員	中崎 則子	
細入村母親クラブ連合会会長	江尻 和実	
細入村身体障害者福祉協会会長	島田 芳雄	
細入村交通指導員連絡協議会会長	下坂 隆蔵	
細入村防犯組合北部支部長	中山 鎌雄	
細入村防犯組合南部支部長	加藤 秀雄	
男女共同参画細入連絡会代表	上村 正枝	
細入村保健衛生協会会長	本芳 彦弘	
細入村商工会会長	水腰 英文	
細入村観光協会副会長	山下 信市	
細入村民生児童委員連絡協議会会長	島田 恵	

報道関係：14社

合併協定調印式

司会（長谷川綾子）

只今より、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村「合併協定調印式」を開催いたします。

はじめに、本日の合併協定調印式の主催者を代表いたしまして、富山地域合併協議会会長 森 雅志 富山市長がご挨拶を申し上げます。

開式挨拶 富山地域合併協議会会長 森 雅志（富山市長）

皆さん、おはようございます。今年は、大変台風の多い年でございますが、今日もまた、大きな台風が来ているようでございます。足元も悪い日となりましたが、皆様方にお集まりいただきまして、冒頭お礼を申し上げます。次第でございます。

富山地域の、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の7市町村によります「合併協定調印式」が、富山県知事代理の澤合出納長様、また、衆議院議員の長勢先生をはじめ国会議員の方々、更には、県議会議員、市町村議会議員、そして各種団体の多くの皆様方のご臨席の下で挙行できますことを、心からお礼を申し上げます。次第でございます。

昨年4月に、この7市町村によります富山地域合併協議会を設置し、第1回協議会においてご承認をいただきました24の協定項目に基づきまして、市町村職員の皆様方には通常の仕事をしながら、度重なる分科会、専門部会、幹事会等の開催をしていただき、2,000項目を超える事務事業の調整を終えることができた訳でございます。

そして何よりも法定協議会委員の皆様方にも大変なご努力をいただき、数次にわたって法定協議会を開催し、その都度、事務方でまとめた協定項目につきまして熱心にご審議を賜り、一つひとつご決議をいただき、7月29日の法定協議会をもちまして、全ての調整項目につきまして議決を終えていただいたところでございます。法定協議会の委員の皆様方にも、心からお礼を申し上げます。次第でございます。

そういった多くの方々のご努力もございまして、晴れて本日、合併協定調印式を迎えることができることに相成ったわけでございます。まさに、今は時代が大きく変化をしている時期であろうと受け止めております。よく言われております少子高齢化の問題につきましても、ますます深刻化していくという流れは避けようがないのではないかと考えております。また、お一人おひとりの日常の生活圏、或いはライフスタイルにつきましても、大きな変化が到来しているわけでございます。加えて、自治体の行政事務、或いはサービスにつきましても、住民の方々から極めて複雑化、多様化したニーズが向けられているわけでございます。そのような様々な困難な状況を見据えます時に、地方自治体は、今こそしっかりと自らの足元を見つめ、将来を展望し、的確に対応していかなければならないと考えております。

一方では地方の時代と言われつつ、他方におきましては、地方財政は一段と厳しさを増しているわけでございます。そういった厳しい環境の中で、主体的に政策を立案し、高度な行政サービスを維持、実行していくためにも、効率的な財政基盤の確立と行政改革の推進が強く求められているところでございます。スケールメリットを生かすことのできる市町村合併の取り組みは、最も有効、適切な手段であると認識しているところでございます。

時代の変遷とともに、その都度多くの先人の方々が、私たちの郷土を発展させるべく、努力をされ、営みを続けてこられたわけでございます。そうやって培われて、積み上げてこられました、このふるさとを守り、更に発展させていくために、30年、50年先を展望した体制というものを構築し、安定した住民サービスが展開できる場を提供するように努めていかなければならないと考えている次第でございます。

こうした思いを、私たち富山地域合併協議会の構成7市町村がしっかりと共有をし、今日まで合併の作業を推進してまいりましたが、平成17年4月1日には、是非とも「新富山市」を誕生させ、川上から川下に広がる地域が一体となって、「住みたい、住んでいてよかった」と言われるような、すばらしい新市となりますように、皆様方には、今後ともご協力、お力添えを賜りますよう、お願いを申し上げます。次第でございます。

終わりに、本日ご出席を賜りました中沖知事の代理の澤合出納長様をはじめ、ご来賓の皆様方、そして関係者の皆様方に改めてお礼を申し上げます。主催者を代表しての冒頭でのご挨拶とさせていただきます。次第でございます。本日はよろしくお願いいたします。

司 会

本日、合併協定調印式にご出席いただきました皆様のうち、壇上にお座りいただいておりますご来賓の方々をご紹介します。

富山県知事代理、富山県出納長 澤合敏博 様でございます。

衆議院議員 長勢甚遠 様でございます。

衆議院議員 村井宗明 様でございます。

参議院議員 野上浩太郎 様でございます。

参議院議員 広野ただし 様でございます。

参議院議員 河合常則 様でございます。

また、このたびの合併協議にご尽力いただきました、富山地域合併協議会委員の皆様をはじめ、ご支援ご協力をいただきました関係市町村議会議員並びに関係市町村の皆様、富山県議会議員ならびに県関係者の皆様、さらに各種関係団体の代表の方々にも多数ご出席いただいております。

本日は公私ともお忙しい中、誠にありがとうございました。

合併協定書の調印に先立ちまして、7市町村の合併に向けたこれまでの経過と、本日調印をいたします合併協定書につきまして、富山地域合併協議会事務局長であります 阿部秀邦 がご報告申し上げます。

経過報告及び協定内容の説明 富山地域合併協議会事務局長 阿部 秀邦

本日の富山地域7市町村による合併調印に至りました、これまでの道のりとあわせまして、合併協定内容の概要について報告させていただきます。

はじめに、経過につきまして、お手元の調印式次第に従って説明させていただきます。

平成13年7月5日、合併協議を進めていく上での基礎的資料を作成するための調査研究を行う「第1回富山地域合併に関する研究会」を開催し、調査研究を始めております。平成14年9月6日には、合併に関する情報交換の場として、富山地区広域圏構成11市町村の助役により「第1回市町村合併に関する懇談会」を開催いたしております。

12月2日には、富山市が富山地区広域圏10市町村に対し、合併協議会設立準備会への参加を要請し、これに対して、参加意向のあった現在の構成7市町村長により組織された「第1回富山地域合併協議会設立準備会」を、平成15年1月8日に開催いたしております。

2月19日には「第2回富山地域合併協議会設立準備会」を開催し、3月議会への「富山地域合併協議会の設置」に関する議案の上程を、山田村を除く富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、細入村の6市町村で合意し、発足にあたっての確認書を取り交わしております。これを受けまして、3月17日から25日の間にかけまして、富山地域合併協議会の設置に関する議案を、6市町村議会でも可決しております。3月26日には、山田村の参加表明を受けまして、山田村を含む現在の7市町村による確認書を改めて取り交わしております。

平成15年4月1日、法定協議会としての富山地域合併協議会が発足し、富山地域合併協議会の事務局を開設いたしました。併せて、富山県知事に届出をいたしております。

4月11日には、第1回富山地域合併協議会を開催し、同日、富山県知事に対し、合併重点支援地域の指定を要望しております。これを受けまして、5月2日、富山県知事より合併重点支援地域の指定を受けております。

5月20日には、第2回富山地域合併協議会を開催いたしまして、合併の方式、合併の期日を承認しております。なお、ここでの合併の期日につきましては、この時点での合併特例法を勘案しながら、平成17年3月31日までとし、国の動向を見極めて上で、後にその期日を決定するといったしております。

以降、合併協議会につきましては、第1回から第16回まで、毎月1回、定例的に開催いたしまして、協議を重ねてまいりました。主な承認事項につきましては、記載のとおりとなっております。この中で、平成15年6月26日には、第3回富山地域合併協議会を開催し、この時点より山田村が正式に加入しております。

11月13日から12月2日にかけて、構成7市町村において協議会としての住民説明会を開催しております。なお、これ以降におきましても、各市町村単位で、それぞれの立場で随時説明会が開催されております。

平成16年7月29日、第16回富山地域合併協議会を開催し、5月に改正されました合併特例法を考慮した上で、合併の期日を平成17年4月1日としております。この第16回合併協議会をもちまして、協定項目に基づく2,038項目の全ての協議が終了し、調整方針が承認されております。

16回の合併協議会に至るまでには、47回の幹事会、約130回の専門部会、約500回の分科会を経て協議をされてきたものでございます。この全ての協議事項をもって、それぞれの市町村において内容等を検討され、本日の合併調印に至っているわけでございます。

以上、経過についての報告とさせていただきます。

次に、合併協定内容についてご説明させていただきます。本日調印されます内容をお示しした合併協定書を皆様のお手元に配付をさせていただいております。

この合併協定書に掲げております協定項目につきましては、第3回合併協議会において、協定項目1「合併の方式」から協定項目24「新市建設計画」までの24項目について協議を行うと定めております。この協議の結果として承認されました調整方針について記載をしているものでございます。

協定項目1「合併の方式」は、新設合併とする。協定項目2「合併の期日」は、平成17年4月1日とする。「新市の名称」につきましては、富山市（とやまし）とする。「新市の事務所の位置」は、現在の富山市役所の位置とする。以下、具体的内容につきましては、記載のとおりとなっておりますので、説明を省略させていただき、協定項目のみを読み上げさせていただきます。5番目には、「財産及び公の施設の取扱い」、6番目には、「議会の議員の定数及び任期の取扱い」、7番目には、「特別職の職員の身分の取扱い」、8番目には、「一般職の職員の身分の取扱い」、9番目には、「農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い」、10番目には、「地方税の取扱い」、11番目には、「条例及び規則等の取扱い」、12番目には、「組織及び機構の取扱い」。ここでは、本庁は現在の富山市に置き、総合行政センターを、現在の6町村を単位とする区域毎に設置するとしております。13番目には、「一部事務組合等の取扱い」、14番目には、「使用料・手数料等の取扱い」、15番目には、「公共的団体等の取扱い」、16番目には、「補助金、交付金等の取扱い」、17番目には、「町・字名の取扱い」、18番目には、「慣行の取扱い」、19番目には、「国民健康保険事業の取扱い」、20番目には、「介護保険事業の取扱い」、21番目には、「各種事務事業の取扱い」。ここで、2,000項目余りの細部の各種事務事業の協議を行っております。この内容の主なものにつきましては、協定項目14「使用料・手数料等の取扱い」、同じく16「補助金、交付金等の取扱い」と併せまして、合併協定書付属資料として、皆様のお手元に配付させていただいておりますので、ご覧いただければと思っております。

22番目には、「地域審議会」。これにつきましては、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村及び細入村の区域毎に、地域審議会を設置するとしております。23番目には、「電算システム統合」、24番目には、「新市建設計画」であります。合併後の新市を建設していくためのマスタープランといたしまして、将来のビジョンや施策の方向性等を示し、まちづくりの基本的な指針として策定したものであります。皆様のお手元にその概要版を配布しております。

以上、経過の報告及び協定内容の説明をさせていただきました。ありがとうございました。

司 会

それでは、富山市・大沢野町・大山町・八尾町・婦中町・山田村・細入村の合併協定書の調印を執り行います。

調印を行いますのは、森 雅志 富山市長、中斉忠雄 大沢野町長、清水忠夫 大山町長、吉村栄二 八尾町長、大島外夫 婦中町長、山崎吉一 山田村長、野尻昭一 細入村長でございます。

それでは、調印をお願いいたします。

〔合併協定書調印〕

続きまして、本日ご臨席いただいております皆様を代表いたしまして、7市町村議会の代表の皆様に、立会いの証としてご署名をいただきます。ご署名をいただきますのは、富山市議会議長 高見隆夫 様をはじめ、各町村議会の代表の皆様でございます。

それでは、ご署名をお願いします。

〔立会人による署名〕

ありがとうございました。

おかげをもちまして、皆様の立会いのもと、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の合併協定調印が調いました。

では、7市町村長、どうぞ自席でご起立の上、会場の皆様方にご署名のご披露をお願いいたします。

どうぞ、盛大な拍手をお願いいたします。

〔拍 手〕

どうもありがとうございました。ご着席ください。

ここで、調印が調ったことを記念いたしまして、7市町村長によります握手をお願いしたいと思います。

7市町村長は、演台の前にお進みになりまして、森市長を中心にお並びください。

本日は沢山の報道関係、また、各市町村の広報の方々が揃いでございます。カメラマンの皆様、どうぞ前方にてご準備をお願いいたします。森市長を中心に、どうぞ7市町村長お並びください。カメラの皆さん、ご準備はよろしいでしょうか。

それでは、握手をお願いいたします。

〔 撮 影 〕

皆様、盛大な拍手をお願いいたします。

カメラの皆様、よろしいでしょうか。リクエストがございました。もう一度握手をお願いします。

今度は両手の握手になりました。どうぞ、カメラの皆様お願いいたします。

只今、両手握手のリクエストがございまして、応じていただいております。

ありがとうございました。今一度、盛大な拍手をお願いいたします。

以上で、滞りなく合併協定調印が終了いたしました。

続きまして、ご来賓の皆様からご祝辞を賜ります。

本日は、沢山のご来賓の皆様にご臨席をいただいておりますが、時間の都合上、ご来賓の皆様を代表して、始めに、富山県知事 中沖 豊 様よりご祝辞を賜ります。よろしくお願いいたします。

祝辞 富山県知事代理 富山県出納長 澤合 敏博

おめでとうございます。

皆さん、おはようございます。只今は、富山地域合併協定の調印が滞りなく行われまして、本当におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。今日は、本来なら中沖知事が参りまして、お祝いを申し上げるところでございますが、今日は公務で県外出張をいたしております。私、先ほど紹介いただきました出納長の澤合でございますが、知事から祝辞を預かってまいりましたので、ご披露させていただきます。

大変爽やかな実りの秋を迎えておりますが、本日、多くのご来賓や関係の皆様方のご出席の下、富山地域7市町村の合併協定の調印が滞りなく行われましたことを、心からお祝いを申し上げます。この日を迎えるまでの関係の皆様方のご苦勞、並々ならぬものがあったと思います。ここに皆様方のご努力に対しまして深く敬意を表する次第であります。

さて、本格的な地方分権の時代を迎え、我が国の地方自治制度は大きく変わろうとしております。21世紀に相応しい地方自治を確立するためには、自己決定と自己責任の原則の下、魅力溢れるまちづくりをすすめるとともに、行財政基盤の充実強化と効率的な行政運営に努めていかなければなりません。そのための有効な手段が市町村合併であります。

富山地域7市町村は、豊かな自然に恵まれ、それぞれの歴史と文化を培いながら、着実に発展を遂げてこれ来ました。今後共、お互いの個性と長所を生かしながら、一体感のある、新しい「富山市」を創造していただきたいと考えております。どうか皆様方には、本日の調印を契機として、住民の皆さんのご理解を十分にいただき、議会、行政、住民の皆さんが、気持ちを一つにして、新市の誕生を迎えられますよう、これまで以上にご尽力いただくとともに、県の中心都市として、さらに大きく飛翔されますことを心から念願しております。

県といたしましては、これまでも富山地域7市町村を合併重点支援地域に指定し、皆様方の取り組みに積極的に協力してまいりましたが、今後共、新市建設計画の着実な推進に支援、協力してまいりたいと考えております。そして、来年4月1日には、新しい県都富山市の誕生を富山県民みなでお祝出来ますことを、心から楽しみにいたしております。

終わりに、皆様方の益々のご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成16年10月9日 富山県知事 中沖 豊

以上でございます。本日は、本当におめでとうございます。

司 会

ありがとうございました。本日は、出納長の 澤合敏博 様にご出席いただき、お言葉を頂戴いたしました。
続きまして、ご出席いただいております国会議員の皆様を代表して、衆議院議員、長勢甚遠 様よりご祝辞を賜ります。
よろしくお願いいたします。

祝辞 衆議院議員 長勢 甚遠

今日は、このように多数ご出席の下に、7市町村の合併調印式が盛大に、また厳かに執り行われました。調印が行われましたことを心からお祝いを申し上げます。

ここに至りますまでの経過、先ほどご報告がございましたが、大変なご苦勞であったと思います。それだけに、ご出席の市町村長さんをはじめ、皆様方、それぞれ感慨深いものがあるかと思いますが、今までのご苦勞に對しまして、心から敬意を申し上げたいと思います。

これによりまして、私は何よりも、これから環日本海時代を迎える、また各都道府県間の競争も激しくなる中で、県都「新富山市」が、大きな発展の基盤を作ったということ、高く評価をさせていただきたいと思います。それだけに、この合併を契機として、「新富山市」の一体的な力を発揮できる基盤を作るように、一層の努力が必要であろうと思う次第でございます。

また、この間、市町村合併と、或いはこれから三位一体改革なども議論になるわけですが、いかにも行財政改革だけが表面に出ているような感じがしてなりません。もちろん、これが基本でありますけれども、考えなければならないのは、今までの金の使い方、その他が、どういうやり方でやったら、より効率的に、且つ住民のニーズに合って使われるかという仕組みを作り直すということが基本であります。

この協定書を見ておきますと、大変な量の議論をなさってこられたということ、しみじみ感じる訳でございます。大変なご苦勞があったのだらうと思いますが、これで終わったわけではない、これからが本当に大事でございますので、今日ご参会の皆様方共々、より良い「新富山市」の発展に努力をしていかなければならないなということを感じた次第でございます。

同時に、どうしても市町村規模が大きくなりますと、各地域、村ですとか、町内会ですとか、或いは家族に対する行政の目配りが、おろそかになりかねないということをもっとも恐れるものでございます。今後、新市の運営にあたっては、この点にも、今日ご参会の皆様方一緒になって、より良い、新しい、また親しみやすいまちづくりのためにご努力を賜りたいと、心からお願いを申し上げる次第でございます。

今日は、新しい市を創った、県政の新しい1ページを開く、素晴らしい日になりました。心からお祝いを申し上げまして、お祝いのご挨拶にさせていただきます。おめでとうございます。

司 会

ありがとうございました。

衆議院議員 長勢甚遠 様からご祝辞を頂戴いたしました。

本日の合併協定調印式に際しまして、祝電を頂戴いたしておりますので、ご披露させていただきます。

「富山地域構成7市町村による合併協定調印式のご盛会を心からお祝い申し上げます。調印式に至るまでの関係者皆様方のご苦勞に對し深く敬意を表します。新富山市の限りないご発展とご参会の皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。」衆議院議員 長勢甚遠 様から頂戴いたしました。

以下、同意、同文でございますので、お名前のみご紹介とさせていただきますことをご了承ください。

衆議院議員 宮越光寛 様、参議院議員 野上浩太郎 様、参議院議員 広野ただし 様から頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

最後に、富山地域合併協議会副会長で会長職務代理者であります 中斉忠雄 大沢野町長より、閉式の挨拶を申し上げます。

閉会挨拶 富山地域合併協議会副会長・会長職務代理者 中斉 忠雄

合併調印式の閉会にあたり、構成7市町村を代表してご挨拶を申し上げます。只今、関係各位の深いご理解の下、無事合併協定の調印を終えることができました。

今、刻々と変化しております社会状況に對して、地方自治体のあるべき姿が問われております。地方への権限が拡大される中であって、将来に亘り住民の幸せを考えるならば、合理的な運営が可能となる自治体の体制を整えることが不可欠であります。

こうした考えを7市町村が共有し、本日合併協定の調印を行ったわけであります。この後、各市町村議会での議決をいただき、10月下旬には富山県知事への合併申請を7市町村揃って行いたいと考えており、平成17年4月1日の「新富山市」の誕生に向け、引き続き努力して参る所存でありますので、何卒、関係各位の更なるお力添えとご指導を心からお願いを申し上げます。

本日は、澤合出納長様をはじめ、国会議員の先生方、県議会議員の先生方、そして各関係市町村議会議員の皆様、そして各団体等の多くの皆様のご臨席の下、富山地域7市町村の合併調印式が無事終了いたしましたことを、改めてお礼を申し上げまして、閉式のご挨拶といたします。ありがとうございました。

司 会

以上をもちまして、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村「合併協定調印式」を終了いたします。

本日は、ご来場いただきまして誠にありがとうございました。お忘れ物のございませんよう、お気をつけてお帰りください。誠にありがとうございました。